

**京丹後市夢まち創り大学****大手前大学 今福ゼミナール  
「古代の紫再現実験イベント」の開催について**

令和5年8月16日

京丹後市

本市では、京丹後市夢まち創り大学事業として、参画大学と連携し市内各地域で大学生の地域活動の取組を支援しています。

参画大学の一つ、大手前大学 建築&芸術学部 今福ゼミナールでは、平成29年度より市内の織物事業所協力のもと、丹後ちりめんの研修やインターンシップに継続して取り組んでおり、その一環として8月26日に「子ども大学染色教室」と「古代の紫再現実験」を同時開催いたします。

平安時代の文献調査では、古代の丹後国で生産された絹地を使用し最も高貴な紫が染められた可能性があることがわかりました。この企画では、丹後で織られた絹を使用し、古代の紫の染色再現実験を行います。

**◆ 子ども大学染色教室 丹後ちりめんを使って草木で染める絞り染**

<日 時> 令和5年8月26日(土) 13時~15時(12時30分開場)

<場 所> 旧丹波小学校(京都府京丹後市峰山町丹波 1007-8)

<内 容> 絞り染体験(ログウッド使用) 他

※詳細については別紙、イベントチラシを参照

※応募多数につき申込受付終了しました

**◆ 古代の紫染色再現実験 in 京丹後**

<日 時> 令和5年8月26日(土) 13時~15時(12時30分開場)

<場 所> 旧丹波小学校(京都府京丹後市峰山町丹波 1007-8)

<内 容> むらさき草の根(紫根)、丹後産の絹を使用した公開染色実験。大手前大学の考古学と染色工芸の2つの異なる分野の教員の共同研究の成果に基づいて、学生たちが染色再現実験を実施します。

※詳細については別紙、イベントチラシを参照

<主 催> 大手前大学

<協 力> 京丹後市夢まち創り大学

<後 援> 京丹後市教育委員会





せんしよくさいげんじつげん きょうたんご  
染色再現実験 in 京丹後

# 古代の紫

むらさき

調古 古代日本の染色品の中でも、紫根を用いた染色品は

再現が最も困難な色です。特に濃い紫は冠位十二階でも

知られるように、最も高貴な色とされてきました。

平安時代の文献を調査すると、古代の丹後国で

生産された絹地を使用して、最も高貴な紫が染められた  
可能性があることがわかりました。この企画では、

絹の産地であった丹後で織られた絹を使用し、  
その丹後にて古代紫の染色再現実験を行います。

平安時代の文献「延喜式」に  
丹後国から絹織物貢納の記述

平安時代の文献、延喜式の中には、天皇の御服や賞賜（しょうし）用衣服の縫製、組紐（くみひも）類などを管轄する中務省所属の縫殿寮の項目に、古代の紫の染色に関する記述があります。また、延喜式の主計寮（当年の調・庸、その他の貢納分を計算し来年の収支の予算をたてる役所）には丹後国から毎年、白生地が貢納（こうのう）されていたことがわかります。

## 考古学

大手前大学染色工芸ゼミでは、「古代の紫染色再現実験 in 京丹後」というテーマで、古代の技法を使用して最も高貴とされる色

である紫を再現します。そのために、絶滅危惧種である  
むらさき草の根（紫根）を使用し、**2年間**かけて丹後産の  
絹を使って公開染色実験を行います。

※大手前大学の考古学と染色工芸の二つの異なる分野の  
教員の共同研究の成果に基づいて、学生たちが染色再現実験を実施しています。